

# 會報

二華会  
第51号  
2022.3.1

## ご挨拶

### 二華会に寄せて

二華会会長 眞壁孝子



こんにちは。早春の候皆様お健やかに過ごすごしのことと存じます。

新型コロナウイルスの大変な日々を過ごされてきたのではと心を痛めております。

二華会では、2年続けて総会も開けず、また、各支部総会や専門部の活動も2年続けて中止となりました。

また、皆様と楽しい交流の場を持つことが叶わずとも残念な思いでございます。来年度は、会長はじめ各役員のご選任時期に当たります。私も高齢となり体調を崩すことも多くなりましたので、今年度を持ちまして退任させていただきます。

改選に当たりましては、これまでどおり役員選考委員会を立ち上げ候補者を推薦し、6月の定例常任幹事会でご承認いただき決定しました。新会長は小出裕貴子さん(高20)・副会長は雁部みゆきさん

## ごあいさつ

一気くばり、心くばりー

校長 伊藤俊



二華会会員の皆様こんにちは。日頃より、本校の教育活動にご協力とご支援を

いただき、心より感謝申し上げます。さて、今年度もコロナウイルス感染症拡大のために、総会や各支部の活動等も中止せざるを得ない状況とお聞きし、残念に思っています。各支部に赴き、学校の活動報告をする予定でしたが次年度以降実施したいと考えております。

二華中高校の新校舎になり、10年以上が経ちました。他の県立高校に比べて、教室、廊下等も非常にきれいです。生徒達が日々丁寧に使っている何よりの証拠だと思います。二華会館も同様で来賓の方々にもお褒めの言葉をいただき、校長としてうれしく思います。

二女高時代からの伝統で「気くばり、心くばり」ができる生徒が多いからだと自負しています。先目、出張中の新幹線の車中でのことです。前席の20歳の若い青年が「すみません、背もたれを倒します」と、さりげなく自然に声をかけてくれました。私も心がけていることでしたが、実際にそ

の「気くばり、心くばり」の配慮をうけると実に気持ちの良いものでした。その青年に好印象を持ちますし、周囲の雰囲気も穏やかになり、私自身も快適な移動時間を過ごすことができました。

航空会社の元CAが書いた「気くばり、心くばり」のできる乗客についてのエッセイを思い出ししました。食事の後がきれいな乗客には一目置いてしまうということでした。「機内食はトレイの上にところ狭しと食事・飲み物・カトラリー・ナプキン等が置かれ、食べ終わった後は、トレイの上が散乱しがちです。そんな中でも食後も整然としているお客様を見ると、思わずすごいと思います。日常も頭の中も整然としているのだろうか・・・そんな方には一目置いてしまうのです」との内容でした。

本校では、この4月から国際バカロレア類型の授業がスタートしました。卒業後は直接海外の大学に入学できるシステムです。今後多くの二華の卒業生達は国内だけでなく世界中で活躍するはずで、世界基準の学力を身に付けてもらうだけでなく「気くばり、心くばり」ができる人材育成に取り組まなければならないと考えています。脈々と続く二女から二華の「気くばり、心くばり」ができる人材に期待していただきたいと思います。

## 令和4年度二華会総会のご案内

- 日時 9月25日(日) 10:00~12:00
- 会場 仙台ガーデンパレス(仙台市宮城野区榴岡4-1-5)
- 会費 2,000円ケーセット、お土産付き

当番学年 高45回生(平成5年卒) サブ当番学年 高55回生(平成15年卒)、華9回生、華10回生、華11回生  
※3年ぶりの開催です。皆様のご参加をお待ちしております。参加ご希望の方は二華会事務局までご連絡ください。

アトラクション  
『映像によるピアノコンサート』

百花斉放  
~時を超えて再び集う私達~  
演奏 江村 玲子(高45)

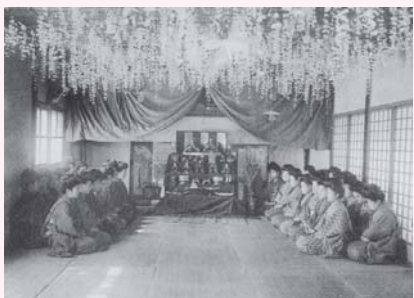


### ひいなのお会より

ひいなのお会代表 牧 富美子 (高24)  
『二華のひなまつり』は毎年3月1日～3日に開催してまいりましたが、令和2年度からの公立高校入試の一本化で試験日が3月初めとなり、試験日前の校内立入制限が『二華のひなまつり』開催期間と重なるようになりました。これに伴い開催期間を変更することを検討しております。

新しい開催期日は新型コロナ感染が収まり『二華のひなまつり』が再開される時にあらためて皆様にお知らせいたします。

また令和4年は東華高女寄宿舎生より内裏雛・五人囃子が寄贈され初めての雛まつりが開かれてから110年目にあたります。そこで令和4年2月15日～3月1日まで、二華会館1階ステンドグラス前に当時の飾り方を再現して古今雛を飾ります。展示ケースには五節句の飾りも展示されます。(五節句飾りのみ通年展示予定) 昨年度に続き今年も一般公開は叶いませんが、二華会館へお越しの際はどうぞご覧ください。



明治45年の寄宿舎雛まつり

## 歳時記 ～今年度の二華会活動～

### コロナ禍の事業部活動について

事業部長 小野多喜子 (高20)

今年度の二華笑市は、コロナ蔓延のため、残念ながら中止になりました。校史パネル展は、学校と相談し、9月下旬から10月中旬までの期間、校舎1階で行いました。感染防止の観点から、今回は、在校生と教職員のみでの参観にしました。配慮した点は、①二華校になってからのカラー版パネル作成②興味、関心を持たせるポスター作成③当時の机等の実物展示④自由に感想を書けるノート設置等です。

学校行事の関係もあり、当日は多くの在校生の参観がありました。困難にもめげずに、頑張っていた先輩の姿に感銘を受け、自分たちも意欲を持って邁進したいとの意気込みが書かれた感想がありました。又、入学してきたばかりの生徒が、これからの二華校の学校生活に興味関心を持つ契機になったようです。

今回、このように、多くの収穫があった事は、事業部一同、大変嬉しく思います。



熱心に見学する在校生

### 財政部よりのお願い

二華会維持費である年会費の納入にご協力くださりありがとうございます。平成28年度より会費は全員納入となり、80歳以上の会費免除が無くなりました。会報は年会費を納入いただいた方にお送りしています。令和4年1月からゆうちょ銀行において硬貨取扱手数料が新設され、年会費をゆうちょ銀行窓口やATMで現金払いされる際に、硬貨の枚数に応じた手数料が加算されます。母校と二華会の輝かしい未来のために、今後ともご理解ご協力のほどどうぞ宜しくお願い申し上げます。

### ピックアップ

母校で永年にわたり茶道部の指導をされてきたお二人の同窓生にその思いを寄稿して頂きました。

秋田 陽子 (高13)

裏千家・佐藤宗鶴先生(女17)に師事して40年。つれそい共にお茶を続けてきた。先生が



二華会館和室でのお稽古

他界された弟子達をみながら私の修業は続く。二華の茶道部も引き継いだ稽古場だ。若い生徒に日本の伝統文化たる茶道は、どう映っているのだろう。ほっとした時に「どうぞ一服」と言える余裕のある人生を送ってほしい。きのう11月19日、お家元様から名誉師範の称号をいただいた。皆様のお陰である。限りある日々に、もうひとがんばりする力を、神様。

大内久美子 (高30)

平成3年に佐藤宗鶴先生にお声をかけていただき茶道部で指導しております。茶道部は代々明るく、稽古日が少ない中、目標に向い、互いに高めあい形にしていくなか、



秋田さん(左)と大内さん

大先輩の千嘉代子様は、生前「お茶をいただく人の幸せを考え、心をこめ茶を点てるように」とお話をされていたこととです。15代鵬雲斎大宗匠が大事になさっている「和敬清寂」の精神や先輩方の思いを忘れず、皆さんと共に学んでまいりたいと思います。

※千嘉代子氏は東華8回生、茶道裏千家14代家元淡々斎に嫁いだ。女性初の仙台市名誉市民。

略歴 昭和42年裏千家学園茶道専門学校卒業  
平成4年東北福祉大学福祉学部心理学卒業  
平成11年仙台レインボーロータリー所属

略歴 昭和60年裏千家学園茶道専門学校卒業  
茶道裏千家淡交会宮城支部副幹事長  
茶道裏千家淡交会学校茶道連絡協議会委員長

### \*令和3年度表彰・寄贈一覧

《表彰者》 瑞宝小綾章 久力 誠様 (客員・第25代校長)

《寄贈本》 竹内通夫 様

「女性たちのブルーボール」 竹内通夫 著

・倉光恭三 様 (客員) 「グローバル時代のホールスクールマネジメント」 倉光恭三 共著

・菅野恭彦 様 (客員) 「仙臺郷土研究」 仙台郷土研究会 著

「大槻三賢人」 阿曾沼要 著

「あの日電車通りで」 仙台市電のころ」 小野寺純 一 著

・芳賀秀俊 様 (客員) 「世界の巨匠ティニ・ミウラの手作り豪華本1990〜2015」

ティニ・ミウラ 著

《寄贈品》 菅野恭彦 様 (客員) 版画 2点 小野寺純 一作